



## Press Release

---

### 新型「ランボルギーニ ムルシエラゴ LP640」発表

2006年2月24日

---

2006年2月22日、イタリア、サンタ・アガタ・ボロネーゼ発:

アウトモビリ ランボルギーニは、ランボルギーニ・ムルシエラゴ・クーペの最新モデルを、第76回ジュネーブ国際モーターショーで発表いたします。

大きな成功を収めてきたスーパー・スポーツカー、ムルシエラゴのニュー・モデルには、ボディデザインとメカニズムの面で大きな革新が盛り込まれています。ムルシエラゴ LP640 の「LP」とはエンジンの搭載位置を表現する Longitudinale Posteriore (後方縦置き) の略で、640 という数字はエンジン出力を表します。デザイナーとエンジニアは、エンジン、サスペンション、ギヤボックス、エキゾーストシステム、ブレーキ、エレクトロニクスといったあらゆる面を見直したばかりでなく、インテリア、エクステリアも一新しました。それにより、ムルシエラゴ LP640 は、クラスのトップに君臨する、もっとも究極で最速のスポーツカーとなったのです。

車両は、2006年春に出荷が開始されます。2001年にフランクフルトで開催された国際モーターショー(IAA)でデビューしたオリジナル

のムルシエラゴは、これまで約 2,000 台がサンタアガタ・ボロネーゼの工場で生産されています。

## 独自のデザイン

ムルシエラゴ LP640 の製作にあたって、ランボルギーニのデザイン・センター、「チェントロ・スティーレ」のデザイナーは、同社の伝統理念である純粹性、スポーツ性、そして機能性に忠実であることを心がけました。その結果、この車は新しいフロントおよびリヤバンパーを備え、よりアグレッシブな外見に生まれ変わりました。エキゾーストシステムの開口部は、リヤバンパーのディフューザーに一体化されました。その他の新しい機構としては、ムルシエラゴ LP640 の存在感を増し、夜間でも間違いようのないリヤライトがあります。新しいサイドデザインも一見の価値があります。エアインテーク後ろ側の部分は、左側にはエンジン・オイルクーラー冷却のために大きな開口部が設けられています。これは、エアロダイナミクスに基づいて設計されたフロント&リヤとともに、ランボルギーニ車の形状は機能に従って決定されることを証明しています。

ムルシエラゴ LP640 の心臓をよりアピールしたい方のために、透明ガラス製エンジンフードを選択することもできます。ドアミラーとワイパーは空力特性を向上させるために形状が見なおされ、「Hermera」軽合金ホイールリムも採用されました。コックピット内のインストルメントパネルに使用される照明のグラフィックも修正されました。室内の仕上げは、菱形ステッチの採用に伴い新しいルックスを身に纏っています。

## よりパワフルなエンジン

新型ムルシエラゴ LP640 のエンジンは、大幅な変更を受け、性能が向上しています。拡大されたボアと延長されたストロークにより、

この定評ある 60 度 V 型エンジンの排気量は 6.2 リッターから 6.5 リッター(6,496cc)へと増加しました。従来でも 580hp を絞り出して  
いたこのエンジンは、変更によって 8,000 rpm で 640hp(471kW)を生み出します。この 12 気筒エンジンの最大トルクは、6,000 rpm で  
660Nm です。もちろん、ランボルギーニ・ムルシエラゴ LP640 は、欧州および北米各国の排出ガス基準に適合しています。

この「進化的前進」は、あらゆるエンジン・コンポーネントの体系だった見直しによって実現したものです。シリンダヘッドと(定評あるラン  
ボルギーニ可変ジオメトリ・システムを採用した)吸気システム全体は、全面的に変更を行いました。クランクシャフト、カムシャフト、エ  
キゾーストシステムも進化しています。

パワーが向上したことにより、その走行性能も当然の如く高まりました。ムルシエラゴ LP640 の 0~100km/h 加速はわずか 3.4 秒で、  
前モデルより 0.4 秒も速くなっています。

ランボルギーニ社のエンジニアは、トルク特性についても取り組みました。このエンジンの「ドライバビリティ」は、無段階可変タイミン  
グ・システム(インテーク、エキゾースト両側)と、ドライブバイワイヤ・エンジン・マネジメント・システムによって高められています。エンジ  
ンがより高出力化することにより、放熱面の要件も増加したため、エンジニアはより大型のエンジン・オイルクーラーが必要と判断し、  
車両左側面にあるエアインテークを拡大しました。ランボルギーニ VACS システム(バリエابل・エアフロー・クーリング・システム)を備  
えた水冷システムは従来と同様で、最高の空力特性を確保するために外気温とクーリング・エアーの必要性に応じて、エアインレット  
が電子的に開閉されます。

## ギヤボックスとトランスミッション: 効率と強度の向上

増強されたパワーとより高いトルクは、ギヤボックスを構成するコンポーネントにも、さらに高い完成度を求めます。その新しいニーズに答えるため、新型ムルシエラゴ LP640 には、改良された 6 速ギヤボックス、強化されたリヤ・ディファレンシャル、新しいアクスルシャフトを採用しています。e-ギヤのセミ・オートマチック・ギヤボックスを選択することもできます。

先行モデルと同様、ムルシエラゴ LP640 は信頼性の高いランボルギーニ VT(ビスカス・トラクション)システムをベースとしたフルタイム 4WD を採用しています。このシステムは機械式で、電子制御系は存在しません。通常加速時のおおよその駆動力配分は、フロントアクスルが 30、リアアクスルが 70 になります。独立に設定された制御機構が、動的変化、重量配分、相対的摩擦係数などの情報に基づき、ビスカスクラッチと完全に連動した形で駆動力を配分します。極端なケースでは、駆動力のすべてをいずれかのアクスルだけに伝達することもできます。

## 電子系:トータル制御のための「クローズドループ」

電子系も最新に更新されています。新しいエンジン・コントロールユニットは、「クローズドループ」の採用により、エンジンの性能と「ドライバビリティ」を向上させています。エンジンおよび車両関係のパラメータは、3 つの「マスター」コントロールユニットと 1 つの「サテライト」コントロールユニットによって管理制御されています。マスター・コントロールユニットは 2 つのランボルギーニ「LIE」エンジン・コントロールユニット、ランボルギーニ「GFA」(補助機能管理)コントロールユニット、そして 1 つのランボルギーニ「PMC」(パワー・モーター・コントロール)サテライト・コントロールユニットから構成されます。これらのコントロールユニットは、CAN Bus によって接続されています。

## フレームとシャシー:完璧なハーモニー

特徴的なシザードアを与えられたムルシエラゴ LP640 のボディは、鋼板とハニカム・カーボンファイバーを接着・リベット留めして構成されています。

高速走行時のドライビング、ハンドリング、および安定性は、新しいスプリングとスタビライザ、そして再設計された電子制御式ダンパーによって確保されています。いわゆる「ブレーキ・ダイビング」や「スクワッティング」を起こさせないためにアクスルに与えられた「アンチ・ダイブ」および「アンチ・スクワット」機構は従来そのまま変更はありません。リヤホイールに装着されたスプリング 2 本、フロントホイールに装着されたスプリング 1 本とダンパーは、同軸上に設置されています。

アルミ合金製の新しい「Hermera」リムの寸法は、フロントが 8 1/2" × 18"、リヤが 13" × 18"となっています。装着できるタイヤは、各種サイズのピレリ製 P Zero Rosso です。ムルシエラゴ LP640 の指定タイヤは、フロントが 245/35 ZR 18、リヤが 335/30 ZR 18 となっています。レースなどのスポーツ用として、ランボルギーニ社はピレリ P Zero Corsa レース用タイヤもオプションとして提供しています。ピレリ P 「Sottozero(零下)」ウインタータイヤも、現在開発中です。

## ブレーキと安全面:セラミック・カーボンブレーキがオプション

ランボルギーニ・ムルシエラゴ LP640 のようなスーパー・スポーツカーは、高い安全性も備えていなければなりません。

バキューム・ブレーキ・ブースター付きのデュアル油圧回路ブレーキシステムは、高い制動力を生み出します。セルフベンチレーション式のブレーキディスクの寸法は、フロントが 380mm × 34mm、リヤが 355mm × 32mm となっています。電子式ブレーキコントロール (DRP) およびトラクション・コントロール (TCS) 付き 4 チャンネル・アンチロック・ブレーキ・システム (ABS) は、性能曲線が見直されまし

た。このシステムは、電子油圧コントロールユニットと、4 つのスピードセンサーから構成されます。

きわめて大きな制動力が必要となる場合、6 ピストンのブレーキキャリパーを持った、380 mm × 36mm のセラミック・カーボンブレーキを搭載することもできます。それにより、ブレーキペダルの踏力はより小さくて済むようになり、制動距離は短縮されます。きわめて苛烈な状況下でも、ブレーキがフェードすることはまずありません。大幅な軽量化と優れた耐久性、そして目を惹くグラフィック・デザインも魅力です。

新型ムルシエラゴ LP640 は、最高に厳しい安全基準も満たしています。フロントにエアバッグを2つ(運転席側には、シングルステージの60リッター・エアバッグ、助手席側には130リッターのデュアルステージ・エアバッグ)採用したムルシエラゴ LP640 は、正面衝突、側面衝突、ポストへの衝突、乗員安全性、燃料供給機構の安全性、素材の難燃性といった事項において、各国の法規をクリアしています。ラゲッジ・コンパートメントも、小児安全対策基準に合致しています。

### **インテリア:さらなるエクスクルーシブ感とカスタマイズの幅**

コックピットのシートは、根本的な変更を受けています。よりスペースが増し、ヘッドレストのデザインも変更され、シートの快適性がより高まっています。レザー製のシート地には、「Q-citura」と呼ばれる菱形ステッチが施されます。同じデザインモチーフは、ドアパネルのトリム、シートとエンジン・コンパートメントの間のパネル、ルーフパネルにも採用されます。

インストルメントパネルは、新しいデザインの照明を備えており、その横には6.5インチのワイドスクリーン・モニターを備えたケンウッド製オーディオ、DVD、MP3、WMA プレーヤーが配されます。オプションで、ナビゲーション・システムも搭載可能です(日本では標準装

備)。

従来モデルと同様、ムルシエラゴ LP640 は特別装備やインテリアのパッケージを組み合わせでカスタマイズが可能です。ムルシエラゴ・ロードスターに採用されて好評だった非対称、ドライバー指向の装備・張地が、クーペにも選択可能になりました。運転席シートとドアパネルは、穿孔加工されたレザー仕上げです。

また、「Privilegio」カスタマイズ・プログラムを選ぶと、ムルシエラゴ LP640 を自分だけのスポーツカーへと変身させることができます。たとえば、コックピット内のエアコン・コントロール・パネル、コントロールレバー・コンソール、パーキング・ブレーキなどに、洗練されたカーボンファイバー仕上げを採用することも可能となっています。



